平成 28 年度（2016 年度）

教科目名　英語コミュニケーション演習Ⅱ　(English Communication Exercise Ⅱ)

専攻名・学年　：　全専攻　1 年　（教育プログラム　第３学年　○科目）
単位数など　：　選択　1 単位　（後期 1 コマ，授業時間 23.25 時間）
担当教員　：　穴井孝義

授業の概要

学会発表を英語で行う場合は，あらかじめ「題目」と「アブストラクト」を提出して書類審査を受けるのが一般的である．本授業では，前期の「英語コミュニケーション演習Ⅰ」で作成した英文アブストラクト（Writing 課題(1)）を使ってその内容を口頭でプレゼンテーションができるようになることを目標に授業を展開する．並行して，口頭でプレゼンテーションを行う際に使用される英語の Spoken English に精通することも目指す．

また，コミュニケーション力を向上させるための演習も常時展開していく．具体的には，TOEIC 形式に準拠した Listening 演習を進めると同時に，重要イディオムや理工系に必要とされる基本英単語の習得にも力を入れる．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(C2)，JABEE 目標(f)(g)**

(1) 英語でのプレゼンテーションに登場するつなぎ言葉や Spoken English に精通するようになる．（定期試験）
(2) 一般的なテーマを基にした英語でのミニプレゼンテーションができるようになる．（Speaking 課題）
(3) Listening 及び Reading 活動を通し，英語で大意が的確に把握できるようになる．（定期試験）
(4) 英語の文法や基本的な理工系英単語を多く習得し，自在に使いこなせるようになる．（定期試験と単語小テスト）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1	授業オリエンテーション Speaking 課題についてのガイダンス	＊毎回のコミュニケーション活動： (1) ペアワークによる英会話練習 (2) 自分の言いたいことが英語で書けて言えるようになるための Show & Tell 活動 (3) Listening 演習 (4) Reading 演習 (5) 文法・語法演習 (6) 定期的な英単語小テストの実施 （上記(3)～(6)は評価の対象）	【理解の度合い】
2	コミュニケーション活動+課題取組み		
3	同上＋小テスト		
4	コミュニケーション活動+課題取組み		
5	同上＋小テスト		
6	コミュニケーション活動+課題取組み		
7	同上＋小テスト		
8	後期中間試験	TOEIC 系応用問題を含む	【試験の点数】　　点
9	後期中間試験解説と学習指導		
10	コミュニケーション活動+課題取組み ＋小テスト		
11	コミュニケーション活動+課題取組み		
12	同上＋小テスト		
13	コミュニケーション活動+課題取組み		
14	プレゼンテーション＋質疑応答	Speaking 課題の口頭発表会（Part 1）	
15	プレゼンテーション＋質疑応答	Speaking 課題の口頭発表会 Part 2）	【試験の点数】　　点
	Speaking 課題のフィードバック		

履修上の注意	(1) 日頃から英語に接する時間を確保して英語センスを養うこと． (2) 人前で口頭発表する際の自分の弱点を克服していくこと． (3) 自動翻訳機を絶対に使用しないこと．	【総合達成度】
教科書	「Listening Explorer for the TOEIC Test」，成美堂． 亀山太一監修，「COCET3300」，成美堂．各種プリント．	
参考図書	「技術系英語プレゼンテーション教本」，日本工業英語協会．	
自学上の注意	＊ 予習時には，設問に対し自分なりの解答を必ず記しておくこと． ＊ 復習して内容を理解した後は，必ず音読を繰り返して行うこと．	
関連科目	実用英語Ⅰ&Ⅱ，資格英語Ⅰ&Ⅱ，英語コミュニケーション演習Ⅰ	
総合評価	達成目標の(1)～(4)について定期試験(1 回)＋単語小テスト(5 回)＋課題で評価．総合評価＝定期試験（50%)＋小テスト(10%)＋Speaking 課題(40%)．総合評価は 100 点満点で 60 点以上を合格とする．再試験は 1 回のみ実施．	【総合評価】　　点